

京都資料総合閲覧室ミニツアー（開催報告）

令和2年7月1日
京都学・歴彩館
075-723-4833

京都学・歴彩館で令和2年1月～2月に「京都資料総合閲覧室ミニツアー」を開催しましたので報告します。

記

■ 名称 京都資料総合閲覧室ミニツアー

■ 実施日時 <参加人数> 延べ21名

1月21日（火） 15時35分～16時00分 <14名>

2月18日（火） 15時45分～16時05分 <7名>

令和元年度は試行を含め全10回開催し、合計延べ105名参加

※3月は臨時閉館のため実施なし。

■ 場所 京都府立京都学・歴彩館2階 探究フロア 京都資料総合閲覧室

■ 概要

（趣旨）歴彩館をはじめて訪れた方を対象に、資料課職員が京都資料総合閲覧室の資料と使い方を案内するミニツアーを開催する。当館の特徴である資料を案内し、満足度を高めてリピート利用、口コミにつなげるため、1回7～10名程度の参加者とする。

（行程）当館を初めて訪れる人が多そうな講演会等の終了時間に併せ1階交流フロアで参加者を募り、2階探究フロアに誘導する。書架を巡りながら資料を手に取り、質疑応答も交え京都資料総合閲覧室を案内する。所要時間20～30分程度。

■ 参加者の反応（抜粋）

- ・毎月SKY大学で来館しているが2階に上がってきたのは初めて。大学の施設かと思っていたので誰でも入れると知ってよかった。
- ・府立大学図書館のことについて質問あり。本や新聞の収集範囲の違いを説明。
- ・間違えて戻したらどうしようという思いからか、棚から出した本は自分で元に戻すのかという質問が複数あった。
- ・資料紹介コーナーも併せて案内したところ興味を持ってもらえ、追悼コーナーには好意的な反応があった。
- ・ガラス張りの特別閲覧室では調査で紙の分析を行っているところが垣間見え、普段あまり見ることのない光景に関心が向いたようだった。

■ その他

- ・友人同士で来館されていても連れだってというわけではなく、行きたい人だけがミニツアーに参加してくれたようで熱心に話を聞いてくれた。
- ・OPACが年明けより新しくなったことも併せて説明。